

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	経蝶形骨洞手術における手術成績と合併症率の検証
研究責任者	脳神経外科 川路博史
研究実施体制	聖隷浜松病院でのデータを使用する:単一施設、非盲検、後方視的研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2026年 3月 31日
対象者	【対象患者】当院で経蝶形骨洞手術を受けた症例 【除外基準】他の手術治療を行った方や手術を行っていない方 【予定症例数】70例 【症例数の設定根拠】当院で対象患者となる見込み症例数を設定した。
研究の意義・目的	間脳下垂体領域の病変（機能性・非機能性下垂体腺腫、頭蓋咽頭腫、ラトケ嚢胞、胚細胞腫瘍、その他の間脳下垂体領域脳腫瘍）に対して経蝶形骨洞手術が施行される。特に、2018年以降同手術は内視鏡下に施行するようになってきている。各病態における治療成績と合併症の評価を、過去の顕微鏡下に行った際の成績と比較検討し、より良い治療成績と合併症リスクの軽減を図ることは重要である。
研究の方法	【研究のデザイン】後向き観察研究 【対象】2012年4月～ 当院で経蝶形骨洞手術を受けた症例 【方法】診療録からデータを抽出する。 【評価】各病態における手術成績（症状の改善、腫瘍の摘出率等）と合併症（頭蓋内出血、髄液漏、髄膜炎、下垂体機能低下、視覚障害、嗅覚障害、鼻内損傷等）を評価する。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 脳神経外科 （氏名）川路博史 TEL:053-474-2222(代表) 脳神経外科外来 9:00~17:00 平日